



「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



どんな秋？「あいさつの秋」

10月に入り朝晩はだいぶ涼しくなり、日中も過ごしやすくなってきました。やっと秋本番といったところでしょうか。「秋」というと、皆さんはどんな秋を想像しますか。今日から2週間、七小では「読書週間」となります。お気に入りの本を友達に紹介したり、普段読まないジャンルの本を手にしたりして、新しい本、新しい自分と出会う「読書の秋」にしていくのもいいでしょう。

先週「七小体育の日」は終わりましたが、来週はスポーツの日もあり、運動に適した気候となります。また、今月下旬には50周年記念集会があり、11月の芸術祭に向けての準備も入ってきます。七小は、「スポーツの秋」から「芸術の秋」へと進んでいきます。

さて、今年は野球やバレーボール、バスケットボール、ラグビーなどの大きな世界大会が開催されていますが、スポーツをしている人が共通で大切にしていることがあるそうです。サッカーのコーチ経験者がこんなことを言っていました。それは、「強いチームは、必ず〇〇〇〇ができる。」

4文字です。何だか分かりますか。野球やサッカーを習っている人も多いと思いますが、必ずしているはずです。それは、「あいさつ」です。ただ、挨拶するだけではダメなんだそうです。「自分から挨拶ができないと強くならない。」

ではなぜ、自分から挨拶をすると強いチームになるのでしょうか。それは、自分から挨拶ができる人は、「気付く力がある人」だからだそうです。自分から挨拶ができる人は、自分の前に先生や友達がいることに気付いているのです。サッカーやバスケットをしていて、前から相手が来ていることに気付けば、避けたり、パスをしたりします。気付かなければボールを取られたり、行き詰まったりしてしまいます。だから、「気付く力がある人」がいるチームは強くなるのです。

また、今はまだ自分から挨拶ができなくても、挨拶をされたら挨拶を返すことも大切です。パスが来た時にそのパスを受け取ればチャンスが広がりますが、せっかくのパスに気付かなかったり、スルーしたりしてしまえばチャンスを潰してしまうことにもなります。

たかが「あいさつ」かもしれませんが、自分から挨拶をすると「気付く力」が身に付き、どんなスポーツでも上達するのです。実は、「気付く力」はスポーツだけでなく、勉強にも役に立ちます。いろいろなことに気付く人は興味が広がり、知りたい、学びたい気持ちが強くなってきて、勉強が楽しくなるのです。友達とのかかわりも上手になっていきます。

清々しい10月は、気持ちの良い「あいさつの秋」にもしていきましょう。